

## 平成22年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

### 1 調査の目的

子どもの体力が低下している状況にかんがみ、全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

### 2 調査実施期間

平成22年4月から7月末まで

### 3 調査の対象とする児童生徒

国・公・私立学校の小学校第5学年、特別支援学校小学部第5学年、中学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年

### 4 公立学校における調査校数（分校を含む）及び参加児童生徒数

		抽出状況			対象児童生徒数		
		学校数	全学校数	抽出率	男子	女子	男女計
小学校	栃木	69	394	17.5%	1,672	1,516	3,188
	全国	4,278	21,713	19.7%	103,540	98,643	202,183
中学校	栃木	31	165	18.8%	1,626	1,488	3,114
	全国	2,057	9,982	20.6%	101,043	95,228	196,271

### 5 調査事項

#### (1) 児童生徒に対する調査

##### ア 実技に関する調査

[小学校8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

[中学校8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ  
(※ 持久走か20mシャトルランのどちらかを選択)

##### イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣、食習慣等に関する質問紙調査

#### (2) 学校に対する質問紙調査

子どもの体力向上に係る地域・家庭等との連携及び特別活動に関する質問紙調査を実施

### 6 結果に関する注意事項と説明

(1) 児童生徒質問紙と学校質問紙の回答結果（百分率）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までで示しているため、百分率の合計が100%にならないことがある。

#### (2) 用語の説明

- ・ 標本数 平均値、標準偏差を算出した人数
- ・ 平均値 調査結果の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。  
平均値＝調査結果の総和／標本数
- ・ 標準偏差 調査結果の個人差の大きさを示す。「(平均値) ± (標準偏差)」の範囲内に全体の68%が入る。「(平均値) ± (標準偏差の3倍)」の範囲内にはほぼ全体が入る。